

「量の見込み」の算出方法（概要）

＜量の見込みの算出の流れ＞

- ① 現在の家庭類型の算出
- ② 潜在的な家庭類型の算出
- ③ 教育・保育の量の見込みの算出（認定区分別）
- ④ 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みの算出（事業別）

＜量の見込みの基本的な算出式＞

$$\begin{aligned} \text{「推計児童数（人）」} &\times \text{「潜在家庭類型（割合）」} = \text{「家庭類型別児童数（人）」} \\ \text{「家庭類型別児童数（人）」} &\times \text{「利用意向率（割合）」} = \text{「量の見込み（人）」} \end{aligned}$$

【全国共通で「量の見込み」を算出する項目】

対 象 事 業		対象児童年齢
1	教育標準時間認定（認定こども園及び幼稚園） ＜専業主婦（夫）家庭、短時間就労家庭＞	3～5歳
2	保育認定①（幼稚園） ＜共働きであるが幼稚園利用のみの家庭＞	3～5歳
	保育認定②（認定こども園及び保育所）	3～5歳
3	保育認定③（認定こども園及び保育所＋地域型保育）	0歳、1・2歳
4	時間外保育事業	0～5歳
5	放課後児童健全育成事業	1～3年生、4～6年生
6	子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライト別）	0～18歳
7	地域子育て支援拠点事業	0～2歳
8	一時預かり事業 ・幼稚園における在園児を対象とした一時預かり ・その他	3～5歳 0～5歳
9	病児保育事業	0～5歳、1～6年生
10	子育て援助活動支援事業 （ファミリー・サポート・センター事業）	0～5歳、1～3年生、 4～6年生
11	利用者支援事業	0～5歳、1～6年生

1 家庭類型の算出

(1) 家庭類型の分類 《手引き：6～8 p.》

- ・対象となる子供の父母の有無、就労状況から家庭類型（8種類）を設定。

【家庭類型の種類】

タイプ	父母の有無と就労状況
A	ひとり親家庭
B	フルタイム × フルタイム
C	フルタイム × パートタイム (就労時間：月120時間以上＋下限時間～120時間の一部)
C'	フルタイム × パートタイム (就労時間：月下限時間未満＋下限時間～120時間の一部)
D	専業主婦（夫）
E	パートタイム × パートタイム (就労時間：双方が月120時間以上＋下限時間～120時間の一部)
E'	パートタイム × パートタイム (就労時間：いずれかが月下限時間未満＋下限時間～120時間の一部)
F	無業 × 無業

(注) 下限時間 = 各自治体における保育の必要性の下限時間（48時間～64時間の間で区市町村が定める時間）

【家庭類型と関連する事業の分類】

家庭類型	家庭類型に関連する事業の分類
<専業主婦家庭・短時間就労家庭> ・タイプC'（フルタイム×パート） ・タイプD（専業主婦） ・タイプE'（パート×パート） ・タイプF（無業×無業）	1 教育標準時間認定（3歳以上） （認定こども園、幼稚園）
<ひとり親家庭・共働き家庭> ・タイプA（ひとり親） ・タイプB（フルタイム×フルタイム） ・タイプC（フルタイム×パート） ・タイプE（パート×パート）	2 保育認定②（3歳以上） （認定こども園、保育所） 3 保育認定③（0～2歳） （認定こども園、保育所、地域型保育）
↓ ※ただし現在幼稚園利用 →	2 保育認定①（3歳以上） （共働き家庭幼稚園利用のみ）

(2) 現在の家庭類型の算出 《手引き：10～14p.》

＜ステップ1＞ タイプA（ひとり親家庭）の算出

＜ステップ2＞ タイプBからタイプFの算出 → 父親・母親の月就労時間に基づき集計

※タイプCとタイプC'、タイプEとタイプE'の区分方法

→ 現在、幼稚園を利用している者で、今後、保育の利用希望がない者を
タイプC'（タイプCから除く）、またはタイプE'（タイプEから除く）へ

＜ステップ3＞ 年齢区分別の集計

【クロス集計によるタイプBからタイプFの設定（3～5歳）】

母親		3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中			5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない	
父親	1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中		120時間以上	120時間未満 下限時間以上		下限時間未満
	1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中		タイプB	タイプC		タイプC'
	1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中		タイプC	タイプE		タイプD
3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	120時間以上	タイプC	タイプE	タイプD		
	120時間未満 下限時間以上	タイプC'	タイプE'	タイプD		
	下限時間未満	タイプC'	タイプE'	タイプD		
5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない		タイプD		タイプF		

【家庭類型のアウトプットイメージ】

家庭類型区分		年齢区分別		年齢統合 (0歳～就学前)
タイプA：ひとり親家庭	0歳		9%	9%
	1・2歳		9%	
	3歳以上		9%	
タイプB：フルタイム×フルタイム	0歳		9%	9%
	1・2歳		9%	
	3歳以上		9%	
タイプC：フルタイム×パートタイム	0歳		9%	9%
	1・2歳		9%	
	3歳以上		9%	
タイプC'：フルタイム×パートタイム(短)	0歳		9%	9%
	1・2歳		9%	
	3歳以上		9%	
タイプD：専業主婦(夫)	0歳		9%	9%
	1・2歳		9%	
	3歳以上		9%	
タイプE：パート×パート	0歳		9%	9%
	1・2歳		9%	
	3歳以上		9%	
タイプE'：パート×パート(短)	0歳		9%	9%
	1・2歳		9%	
	3歳以上		9%	
タイプF：無業×無業	0歳		9%	9%
	1・2歳		9%	
	3歳以上		9%	

(注) 年齢区分別構成比は、各年齢ごとに合計が100%となる。

(3) 潜在的な家庭類型の算出 《手引き：15～29 p.》

- ・子供のいる父親の大半がフルタイム就労であり、就労状況の変更希望も少ないことから、作業の簡素化のために母親の就労状況の変化に注目して、潜在的な家庭類型を算出する。

○パートタイムからフルタイムへの転換意向（転換希望があり、実現できる見込みがある）

○無業からフルタイムへの転換意向（すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい）

○無業からパートタイムへの転換意向（すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい）

＜ステップ1～8＞ 潜在タイプA～Fの算出

＜ステップ9＞ 年齢区分別のクロス集計

＜ステップ10＞ 構成比の算出

【家庭類型集計結果の入力シート】

I. 家庭類型集計結果

シートA

■0歳～就学前

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親				
タイプB フルタイム×フルタイム				
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)				
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)				
タイプD 専業主婦(夫)				
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)				
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)				
タイプF 無業×無業				
全体				

■0歳

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親				
タイプB フルタイム×フルタイム				
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)				
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)				
タイプD 専業主婦(夫)				
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)				
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)				
タイプF 無業×無業				
全体				

■1・2歳

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親				
タイプB フルタイム×フルタイム				
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)				
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)				
タイプD 専業主婦(夫)				
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)				
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)				
タイプF 無業×無業				
全体				

■3歳～就学前

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親				
タイプB フルタイム×フルタイム				
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)				
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)				
タイプD 専業主婦(夫)				
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)				
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)				
タイプF 無業×無業				
全体				

2 教育・保育の量の見込みの算出方法

○教育・保育の量の見込みは、平成27年度から平成31年度までの各年で設定する。

○量の見込みの算出方法

「推計児童数（人）」	×	「潜在家庭類型（割合）」	=	「家庭類型別児童数（人）」
「家庭類型別児童数（人）」	×	「利用意向率（割合）」	=	「量の見込み（人）」

(1) 1号認定（認定こども園及び幼稚園） 《手引き：31～32 p.》

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率
タイプC'（フルタイム×パートタイム） タイプD（専業主婦（夫）） タイプE'（パートタイム×パートタイム） タイプF（無業×無業）	3歳以上	今後、利用したい事業として、幼稚園（通常の就園時間の利用）または認定こども園を選択した者の割合

(2) 2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの） 《手引き：33～34 p.》

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率
タイプA（ひとり親家庭） タイプB（フルタイム×フルタイム） タイプC（フルタイム×パートタイム） タイプE（パートタイム×パートタイム）	3歳以上	現在、利用している事業として、幼稚園（通常の就園時間の利用）を選択した者の割合

(3) 2号認定（認定こども園及び保育所） 《手引き：35～36 p.》

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率
タイプA（ひとり親家庭） タイプB（フルタイム×フルタイム） タイプC（フルタイム×パートタイム） タイプE（パートタイム×パートタイム）	3歳以上	今後、利用したい事業として、幼稚園から居宅訪問型保育のいずれかを選択した者の割合から幼児期の学校教育の利用希望が強い者の割合を控除した割合

(4) 3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育） 《手引き：36～38 p.》

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率
タイプA（ひとり親家庭） タイプB（フルタイム×フルタイム） タイプC（フルタイム×パートタイム） タイプE（パートタイム×パートタイム）	0～2歳	今後、利用したい事業として、認可保育所から居宅訪問型保育のいずれかを選択した者の割合

3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みの算出方法

○地域子ども・子育て支援事業の量の見込みは、平成27年度から平成31年度までの各年で設定する。

(1) 時間外保育事業 《手引き：39～40 p.》

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率
タイプA (ひとり親家庭) タイプB (フルタイム×フルタイム) タイプC (フルタイム×パートタイム) タイプE (パートタイム×パートタイム)	0～5歳	今後、利用したい事業として、認可保育所から居宅訪問型保育のいずれかを選択し、かつ、利用希望時間が18時以降である者の割合

$$\begin{aligned} \text{「推計児童数（人）」} &\times \text{「潜在家庭類型（割合）」} = \text{「家庭類型別児童数（人）」} \\ \text{「家庭類型別児童数（人）」} &\times \text{「利用意向率（割合）」} = \text{「量の見込み（人）」} \end{aligned}$$

(2) 放課後児童健全育成事業（学童クラブ） 《手引き：40～43 p.》

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率
タイプA (ひとり親家庭) タイプB (フルタイム×フルタイム) タイプC (フルタイム×パートタイム) タイプE (パートタイム×パートタイム)	5歳	放課後の時間を過ごさせたい場所で、学童クラブを選択した者の割合

$$\begin{aligned} \text{「推計児童数（人）」} &\times \text{「潜在家庭類型（割合）」} = \text{「家庭類型別児童数（人）」} \\ \text{「家庭類型別児童数（人）」} &\times \text{「利用意向率（割合）」} = \text{「量の見込み（人）」} \end{aligned}$$

- ・就学児に対する調査を行っている場合には、各区市町村の判断で、当該調査の結果を利用することも考えられる。
- ・就学児に対する調査を行っていない場合には、地域における女性の就業割合や利用申込みの状況等の統計データも勘案した地方版子ども・子育て会議等の議論を踏まえ、適切な数値を量の見込みとすることも可能とする。

問39 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）かを、（ ）内に具体的な数字でお答えください。

（※時間は必ず24時間制でお答えください）

(1) 現在

1週あたり () 日 1日あたり () 時間 () 時から () 時

(2) 希望

1週あたり () 日 1日あたり () 時間 () 時から () 時

問40 現在、利用されている教育・保育の事業の実施場所についてお答えください。

（あてはまるもの1つに○）

1. 居住している市区町村内

2. 他の市区町村

問41 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由について、主な理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他 ()

問42 問37で「2 利用していない」に○をつけた方にお伺いします。

利用していない主な理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. （子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の場所や時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため。（ ____ 歳くらいになったら預けようと考えている）
9. その他 ()

問43 すべての方に伺います。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平
日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答え
ください。

なお、これらの「保育サービス」の利用には、一定の利用者負担が発生します。（例）認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

(あてはまるものすべてに○)

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業 ※保育ママ）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）
9. その他認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
12. その他（ ）

問44 教育・保育の事業を利用したい場所についてお答えください。

(あてはまるもの1つに○)

1. 居住している市区町村内 2. 他の市区町村

(3) 子育て短期支援事業 《手引き：43～45 p.》 → 問60

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向
全ての家庭類型	0～5歳	利用意向率 × 利用意向日数

「推計児童数（人）」 × 「潜在家庭類型（割合）」 = 「家庭類型別児童数（人）」
「家庭類型別児童数（人）」 × 「利用意向」 = 「量の見込み（人日）」

・利用意向率

保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、「ショートステイを利用した」者、「仕方なく子供だけで留守番をさせた」者の割合

・利用意向日数

「ショートステイを利用した」者、「仕方なく子供だけで留守番をさせた」者の平均日数

(4) 地域子育て支援拠点事業 《手引き：46～48 p.》 → 問63、問64

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向
全ての家庭類型	0～2歳	利用意向率 × 利用意向回数

「推計児童数（人）」 × 「潜在家庭類型（割合）」 = 「家庭類型別児童数（人）」
「家庭類型別児童数（人）」 × 「利用意向」 = 「量の見込み（人回）」

・利用意向率

地域子育て支援拠点事業を現在利用している者と、今後利用したい者の割合

・利用意向回数

現在利用している者、今後利用したい者、今後利用日数を増やしたい者の月当たり平均利用回数

1. 利用したい	計 () 日
ア. 私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的	() 日
イ. 冠婚葬祭、子どもの親の通院	() 日
ウ. 不定期の就労	() 日
エ. その他 ()	() 日
2. 利用する必要はない ⇒ 問61	

問59 問58で「1. 利用したい」に○をつけた方に伺います。

問58の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。 (あてはまるものすべてに○)

1. 大規模施設で子どもを預かる事業(例:幼稚園、保育所等)
2. 小規模施設で子どもを預かる事業(例:地域子育て支援拠点等)
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で預かる事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
4. その他 ()

問60 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。

	対処方法	1年間の日数
1. あった	ア(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	() 泊
	イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを預かってもらう事業)	() 泊
	ウ. 上記「イ。」以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	() 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	() 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 泊
	カ. その他 ()	() 泊
2. なかった		

問61 問60で「1. あった ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」に○をつけた方に伺います。 ⇒「ア。」以外に○をつけた方は 問62へ

その場合の困難度はどの程度でしたか。 (あてはまるもの1つに○)

1. 非常に困難
2. どちらかというと困難
3. 特に困難ではない

☆問62 すべての方に伺います。

産前産後に育児・家事支援サービスがあれば利用したいですか。また、「1.」に○をつけた方は、産後何か月までを希望しますか。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用したい

⇒ 利用したい場合の産後希望期間

1. 3か月まで 2. 6か月まで 3. 12か月まで

2. 利用したくない

問63 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育てひろば」「児童館」「子ども家庭支援センター」などと呼ばれています）を利用していますか。

（あてはまるものすべてに○）

また、「1. 2.」に○をつけた方は、おおよその数字（頻度）もご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業（子ども家庭支援センター、児童館、子育てひろばなど）

1週あたり（ ）回 もしくは 1ヵ月あたり（ ）回 程度

2. その他（ ）

1週あたり（ ）回 もしくは 1ヵ月あたり（ ）回 程度

3. 利用していない

問64 問63のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

（あてはまるもの1つに○）

また、「1. 2.」に○をつけた方は、おおよその数字（頻度）もご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい

1週あたり（ ）回 もしくは 1ヵ月あたり（ ）回 程度

2. すでに利用しているが、利用日数を増やしたい

1週あたり 更に（ ）回 もしくは 1ヵ月あたり 更に（ ）回 程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問65 下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。A～Cすべてについて「はい」「いいえ」のどちらかに○をしてください。

なお、BとCで「はい」を選んだ方は頻度もご記入ください。

(5) 一時預かり事業等

(一時預かり事業、子育て短期支援事業(トワイライトステイ)、ファミリー・サポート・センター事業(病児・緊急対応強化事業を除く))

＜幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)＞ 《手引き：48～52p.》

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向
＜① 号認定による利用＞ タイプC' (フルタイム×パートタイム) タイプD (専業主婦(夫)) タイプE' (パートタイム×パートタイム) タイプF (無業×無業)	3～5歳	利用意向率 × 利用意向日数
＜②2号認定による利用＞ タイプA (ひとり親家庭) タイプB (フルタイム×フルタイム) タイプC (フルタイム×パートタイム) タイプE (パートタイム×パートタイム)		

＜① 号認定による利用＞ → 問4.3、5.6、5.8 $\begin{aligned} \text{「推計児童数(人)」} & \times \text{「潜在家庭類型(割合)」} = \text{「家庭類型別児童数(人)」} \\ \text{「家庭類型別児童数(人)」} & \times \text{「利用意向」} = \text{「量の見込み(人日)」} \end{aligned}$ ・利用意向率 $\begin{aligned} & \text{ア(1号認定に該当すると考えられる子供の不定期事業の利用希望割合)} \times \\ & \text{イ(不定期児童を利用している幼稚園利用者の一時預かり又は幼稚園の預かり保育の利用割合)} \end{aligned}$ ・利用意向日数 不定期事業の利用移行のある者の平均日数

＜② 号認定による利用＞ → 問2.2-(1)-1、問4.7 $\begin{aligned} & \text{「2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定される者の数(人)」} \\ & \times \text{「利用意向」} = \text{「量の見込み(人日)」} \end{aligned}$ ・利用意向率 1.0 ・利用意向日数 2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定される者の「就労日数」

問43 すべての方に伺います。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平
日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答え
ください。

なお、これらの「保育サービス」の利用には、一定の利用者負担が発生します。（例）認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

(あてはまるものすべてに○)

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業 ※保育ママ）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）
9. その他認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
12. その他（ ）

問44 教育・保育の事業を利用したい場所についてお答えください。

(あてはまるもの1つに○)

1. 居住している市区町村内 2. 他の市区町村

問56 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（あてはまるものすべてに○）

また、○をつけた各項目に、日数も（ ）内に数字でご記入ください。

なお、これらの「保育サービス」の利用には、一定の利用者負担が発生します。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	⇒ （ ）日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	⇒ （ ）日
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	⇒ （ ）日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で夕方から夜間まで、子どもを預かる事業）	⇒ （ ）日
5. ベビーシッター （地域住民が子どもを預かる事業）	⇒ （ ）日
6. その他（ ）	
7. 利用していない	

→ 問57 問56で「7. 利用していない」と回答した方に伺います。

現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）

→ 問58 問56で「1. ～6. 」のいずれかに○をつけた方に伺います。

あて名のお子さんについて、私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

また、○をつけた各項目に、日数も（ ）内に数字でご記入ください。

なお、これらの「保育サービス」の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用したい	計 () 日
ア. 私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的	() 日
イ. 冠婚葬祭、子どもの親の通院	() 日
ウ. 不定期の就労	() 日
エ. その他 ()	() 日
2. 利用する必要はない ⇒ 問61	

問59 問58で「1. 利用したい」に○をつけた方に伺います。

問58の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。 (あてはまるものすべてに○)

1. 大規模施設で子どもを預かる事業(例:幼稚園、保育所等)
2. 小規模施設で子どもを預かる事業(例:地域子育て支援拠点等)
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で預かる事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
4. その他 ()

問60 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も () 内に数字でご記入ください。

	対処方法	1年間の日数
1. あった	ア(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	() 泊
	イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを預かってもらう事業)	() 泊
	ウ. 上記「イ。」以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	() 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	() 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 泊
	カ. その他 ()	() 泊
2. なかった		

問61 問60で「1. あった ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」に○をつけた方に伺います。 ⇒「ア。」以外に○をつけた方は 問62へ

その場合の困難度はどの程度でしたか。 (あてはまるもの1つに○)

1. 非常に困難
2. どちらかというと困難
3. 特に困難ではない

Ⅱ 保育基盤づくりについて（保育サービス以外）

Ⅱ - 1 あて名のお子さんの保護者の就労状況についてお伺いします。

問22 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を伺います。

(1) 母親【父子家庭の場合は記載不要】 (あてはまるもの1つに○)

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 6. これまでに就労したことはない
- } ⇒ (2) ^

→ (1) -1 問22 (1) で「1. ～4. 」(就労している) に○をつけた方にお伺いします。

週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間含む）」を()内にお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり () 日 1日あたり () 時間

(1) -2 問22 (1) で「1. ～4. 」(就労している) に○をつけた方にお伺いします。

家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンでお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(※時間は必ず24時間制でお答えください)

家を出る時間 () 時 帰宅時間 () 時

問45 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。また、「2. 3.」に○をつけた方は、おおよその時間も（ ）内にご記入ください。

（※時間は必ず24時間制でお答えください）（あてはまるもの1つだけ○）

なお、これらの「保育サービス」の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育の事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

（1）【土曜日】

- | | | | |
|-----------------|---|---|--------------------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } | ⇒ | 利用したい時間帯をお答えください。
() 時から～() 時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | | |

（2）【日曜日・祝日】

- | | | | |
|-----------------|---|---|--------------------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } | ⇒ | 利用したい時間帯をお答えください。
() 時から～() 時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | | |

問46 問45の「(1)【土曜日】」もしくは「(2)【日曜日・祝日】」で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にお伺いします。

毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------------|---|
| 1. 月に数回仕事が入るため |) |
| 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため | |
| 3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため | |
| 4. 息抜きのため | |
| 5. その他（ | |

問47 「幼稚園」を利用されている方にお伺いします。

あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。また、「2. 3.」に○をつけた方は、おおよその時間も（ ）内にご記入ください。

（※時間は必ず24時間制でお答えください）（あてはまるもの1つに○）

なお、これらの「保育サービス」の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | | | |
|---------------------|---|---|-----------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } | ⇒ | 利用したい時間帯
() 時から () 時まで |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | | | |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | | | |

＜幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外＞ 《手引き：52～55p.》

→ 問5.8

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向
全ての家庭類型	0～5歳	利用意向率 × 利用意向日数

「推計児童数（人）」 × 「潜在家庭類型（割合）」 = 「家庭類型別児童数（人）」

「家庭類型別児童数（人）」 × 「利用意向」

— 「幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）（1号認定による利用のみ）の利用意向日数」

— 「不定期事業の利用状況における「ベビーシッター」「その他」の利用日数」

= 「量の見込み（人日）」

・利用意向率

不定期事業の利用希望のある者の割合

・利用意向日数

不定期事業の利用移行のある者の平均日数

（6） 病児・病後児保育事業 《手引き：55～58p.》 → 問5.0、問5.1

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向
タイプA （ひとり親家庭） タイプB （フルタイム×フルタイム） タイプC （フルタイム×パートタイム） タイプE （パートタイム×パートタイム）	0～5歳	利用意向率 × 利用意向日数

「推計児童数（人）」 × 「潜在家庭類型（割合）」 = 「家庭類型別児童数（人）」

「家庭類型別児童数（人）」 × 「利用意向」 = 「量の見込み（人日）」

・利用意向率

病気やけがで保護者が休んだ者のうち、病児・病後児保育施設等の利用を希望する者、病児・病後児保育を利用した者、ファミサポを利用した者、仕方なく子供だけで留守番をさせた者の割合

・利用意向日数

病児・病後児保育施設の利用希望日数、病児・病後児保育の利用日数、ファミサポの利用日数、子供だけで留守番の日数の総計を、利用意向のある者の実人員で割った数

問56 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（あてはまるものすべてに○）

また、○をつけた各項目に、日数も（ ）内に数字でご記入ください。

なお、これらの「保育サービス」の利用には、一定の利用者負担が発生します。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	⇒ （ ）日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	⇒ （ ）日
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	⇒ （ ）日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で夕方から夜間まで、子どもを預かる事業）	⇒ （ ）日
5. ベビーシッター （地域住民が子どもを預かる事業）	⇒ （ ）日
6. その他（ ）	
7. 利用していない	

→ 問57 問56で「7. 利用していない」と回答した方に伺います。

現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）

→ 問58 問56で「1. ～6.」のいずれかに○をつけた方に伺います。

あて名のお子さんについて、私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

また、○をつけた各項目に、日数も（ ）内に数字でご記入ください。

なお、これらの「保育サービス」の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用したい	計 () 日
ア. 私用 (買物、習い事等)、リフレッシュ目的	() 日
イ. 冠婚葬祭、子どもの親の通院	() 日
ウ. 不定期の就労	() 日
エ. その他 ()	() 日
2. 利用する必要はない ⇒ 問61	

問59 問58で「1. 利用したい」に○をつけた方に伺います。

問58の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。 (あてはまるものすべてに○)

1. 大規模施設で子どもを預かる事業 (例: 幼稚園、保育所等)
2. 小規模施設で子どもを預かる事業 (例: 地域子育て支援拠点等)
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で預かる事業 (例: ファミリー・サポート・センター等)
4. その他 ()

問60 この1年間に、保護者の用事 (冠婚葬祭、保護者・家族の病気など) により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか (預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も () 内に数字でご記入ください。

	対処方法	1年間の日数
1. あった	ア (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	() 泊
	イ. 短期入所生活援助事業 (ショートステイ) を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを預かってもらう事業)	() 泊
	ウ. 上記「イ。」以外の保育事業 (認可外保育施設、ベビーシッター等) を利用した	() 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	() 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 泊
	カ. その他 ()	() 泊
2. なかった		

問61 問60で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方に伺います。 ⇒ 「ア。」以外に○をつけた方は 問62へ

その場合の困難度はどの程度でしたか。 (あてはまるもの1つに○)

1. 非常に困難
2. どちらかというと困難
3. 特に困難ではない

問48 問47で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にお伺いします。

毎日ではなく、たまに利用したい理由をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他 ()

問49 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問37で「1.」に○をつけた方)に伺います。

⇒利用していらない方は 問56へ

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. あった ⇒ 問50へ 2. なかった ⇒ 問56へ

問50 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。

(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. 父親が休んだ	()日
	イ. 母親が休んだ	()日
	ウ. (同居者を含む)親族・知人に預けた	()日
	エ. 就労していない保護者がみた	()日
	オ. 病児・病後児の保育サービスを利用した	()日
	カ. ベビーシッターを頼んだ	()日
	キ. ファミリー・サポート・センターにお願いした	()日
	ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()日
	ケ. その他 ()	()日
	2. なかった	

問51 問50で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方に伺います。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等に預けたい」と思われましたか。(あてはまるもの1つに○)

また、「1.」に○をつけた方は、日数も()内に数字でご記入ください。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ ()日 ⇒ 問52へ
 2. 利用したいとは思わない ⇒ 問53へ

⇒ 問54へ

(7) ファミリー・サポート・センター事業（就学児のみ） 《手引き：58～60 p.》

→ 問6-6、問6-7

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向
全ての家庭類型	5歳	利用意向率 × 利用意向日数

「推計児童数（人）」 × 「潜在家庭類型（割合）」 = 「家庭類型別児童数（人）」
「家庭類型別児童数（人）」 × 「利用意向」 = 「量の見込み（人日）」

- ・利用意向率
放課後の時間を過ごさせたい場所で、ファミサポを選択した割合
- ・利用意向日数
ファミサポ利用希望の平均日数

(8) 利用者支援事業 《手引き：61 p.》

- ・教育・保育施設や地域子ども・子育て支援事業の量の見込みを勘案して、当事業の量の見込みを算出する（箇所数で設定）。

Ⅲ - 2 小学校就学後の放課後の過ごし方についてお伺いします。
(あて名のお子さんが5歳以上である方)

⇒あて名のお子さんが5歳未満の方は 問70へ

問66 あて名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

なお、「1. ～7.」に○をつけた方は、それぞれ希望する週あたりの日数を()内に数字でご記入ください。

また、「8. 学童クラブ」に○をつけた方は、利用を希望する週あたりの日数と希望する時間を()内に数字でご記入ください。

(※時間は必ず24時間制でお答えください)

1. 自宅	週 () 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 () 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 () 日くらい
4. 児童館	週 () 日くらい
5. 放課後子ども教室「ひのっち」※1	週 () 日くらい
6. ファミリー・サポート・センター	週 () 日くらい
7. その他(公民館、公園など)	週 () 日くらい
8. 学童クラブ	週 () 日くらい ⇒下校時から()時まで

※1 『放課後子ども教室「ひのっち」』・・・地域の方々の協力を得て、放課後に小学校で学習・スポーツなどを体験する取り組みです。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問67 あて名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

なお、「1. ～7.」に○をつけた方は、それぞれ希望する週あたりの日数を()内に数字でご記入ください。

また、「8. 学童クラブ」に○をつけた方は、利用を希望する週あたりの日数と希望する時間を()内に数字でご記入ください。

(※時間は必ず24時間制でお答えください)

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 () 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 () 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 () 日くらい

4. 児童館	週 () 日くらい
5. 放課後子ども教室「ひのっち」※1	週 () 日くらい
6. その他（公民館、公園など）	週 () 日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週 () 日くらい
8. 学童クラブ	週 () 日くらい ⇒下校時から () 時まで

※1 『放課後子ども教室（ひのっち）』・・・地域の方々の協力を得て、放課後に小学校で学習・スポーツなどを趣向する取り組みです。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問68 問66または問67で「8. 学童クラブ」に○をつけた方に伺います。

あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。 （「(1) 土曜日」、「(2) 日曜日・祝日」それぞれあてはまるもの1つに○）

また、利用したい時間帯（何時から何時まで）を () 内に数字でお答えください。 （※時間は必ず24時間制でお答えください）

なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | } → 利用したい時間帯
() 時から () 時まで |
| 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい | |
| 3. 利用希望はない | |

(2) 日曜日・祝日

- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | } → 利用したい時間帯
() 時から () 時まで |
| 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい | |
| 3. 利用希望はない | |

問69 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。 （あてはまるもの1つに○）

また、利用した時間帯（何時から何時まで）を () 内に数字でお答えください。 （※時間は必ず24時間制でお答えください）

なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | } → 利用したい時間帯
() 時から () 時まで |
| 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい | |
| 3. 利用希望はない | |